



学校だより

のびるかみっ子～“元気”があれば何でもできる!!～

上小岩



令和7年11月28日

NO.9

江戸川区立上小岩小学校
校長 宮本 知司

カレンダーも最後の1枚 今はコラム風に… 校長 宮本 知司

「日光を見ずして、結構と言ふことなれ」日光東照宮の華麗さを言い表したこんな言葉もありますが、先週6年生の子供たちと訪れた日光は、天候にも恵まれまさに“日本の晩秋の美しさ(気温は初冬でしたが)”を実感することのできる素晴らしい体験となりました。5年冬のウインタースクールで身に付けたことをベースに、一人一人の子供たちが高い意識をもって臨んだことで、学年の力を大きく花開かせる行事でした。体育大会、北小岩まつり、そしてかみっ子芸術祭と続く秋の行事での大成功を経て、いよいよ6年生の子供たちは「卒業・進学」へと向かっていきます。今年もこのような姿で6年生を送り出せることを、早くも幸せに感じます。

先日、昭和・平成を代表する俳優 仲代 達也さんの訃報が報じられました。数多くの映画やドラマ、舞台での活躍に加え、私がすごいなと思っていたのが「無名塾」という私塾を主宰し、若手俳優の育成に努められていたことでした。そこでは、「演じる」という口では簡単に伝えられないものをご自身の身体と心とで真っ直ぐに伝え、役所広司さんや若村麻由美さんなど多くの俳優を育て上げたそうです。仲代さんが抱かれていた「次の世代を育てる！」という熱い思いには、教育者という立場から私も大いに共感し敬意を抱いていました。

鉄棒の学習（2年生）



今年度本校では、大学を卒業したばかりの2名の新規採用教員が仲間に加わり、職員室に活気と刺激をもたらしています。また、担任と養護の教育実習生に加え、東京都教育委員会の「教職大学院連携協力校」、「東京教師養成塾指定校」として、長期間にわたる特別教育実習生を受け入れ育成しています。職員が不足する苦しい状況の中ではありますが、何でも一生懸命に取り組む“純粋なかみっ子”と接することで、教員を目指す大学生、大学院生が「先生の仕事って本当にいいな！」と実感し、しっかりとその思いを実現していくほいと願うからです。子供たちも、若き先生から多くの刺激と影響を受けるチャンスとなることでしょう。

職員の急な病気休業が続く中で代替の教員がどうしても見付からず、9月から複数の学級担任としてクラスに入っている副校長に加え、校長の私も「担任として」5年生の子供たちとの日々を過ごすこととなりました。デジタル教科書など ICT 機器の使い方を教員に尋ねるところから始まった授業準備ですが、「たくさん分からることは子供たちに聞きながらやろう…」と腹をくくり、「教え方は昭和でも、一人一人の子供たちを愛情込めて見ていくたい」と思っています。(20年近くのプランクは、子供たちに甘え、免じてもらうしかありません…)

11月はいくつもの「学級閉鎖」を行うほどのインフルエンザの蔓延でしたが、ようやく子供たちの健康状況も落ち着いてきたようです。『かみっ子芸術祭』に向けた準備もまさに佳境。閉鎖期間にも自宅に楽器を持ち帰って練習する子は多く、楽しみな行事に向けた子供たちの気持ちも高まっています。5日のナイトミュージアム、6日の学校公開と、たくさんの皆様のご来校をお待ちいたします。



◇来年度より江戸川区では「教材費」「PTA会費」などの学校徴収金の業務を外部委託することが決まりました。金融機関口座の選択の幅が広がるなど多くの利便性があるようです。詳しくは区教委より出される通知をお待ちください。

スケート教室(4年生)